

日本生殖医学会
理事長 杉野法広先生

抗リン脂質抗体症候群合併妊娠診療ガイドライン(案)
に関するパブリックコメントのお願い

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

抗リン脂質抗体症候群（APS）は、動・静脈血栓症や習慣性流産、妊娠高血圧症候群など、多彩な臨床像を示す疾患で、内科や産婦人科はもちろん、血液科、循環器科、小児科など、さまざまな診療科にまたがっています。そのような疾患を持つ女性の妊娠については診療科間の連携を含め解決すべき課題は多岐にわたり、適切な診療の拠りどころとなるガイドラインの整備が極めて重要となります。

本ガイドラインの初版が日本医療研究開発機構の研究班によって刊行されてから、早いもので10年が経ち、臨床研究の蓄積や新たな検査法の導入、分類基準の改訂などを踏まえた新たな指針として「抗リン脂質抗体症候群合併妊娠診療ガイドライン」（案）がまとまりました。

内容の妥当性、貴学会領域との整合性、そして臨床現場での実効性をより確かなものとするため、貴学会の皆様から下記の要領でパブリックコメントを賜りたく、お願い申し上げます。

末筆ながら、貴学会のますますのご発展と、先生方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

敬具

Google Form のリンク <https://forms.gle/7LhFSEjPCWfojiy8>

※リンク先のページ上部に当該ガイドライン案が閲覧できるリンクがございます

回答締め切り：2025年12月8日（月）

2025年11月27日

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業「自己免疫疾患に関する調査研究（自己免疫班）」（代表：渥美達也）

抗リン脂質抗体症候群合併妊娠診療ガイドライン作成委員会

代表者：村島温子（埼玉医科大学リウマチ膠原病科 客員教授）

連絡先：ガイドライン作成委員会事務局 藤枝雄一郎（慶應義塾大学医学部
リウマチ・膠原病内科 専任講師） yfujieda@keio.jp